

全学斗通信

No.5
1968.9.24

東京教育大学

全学斗争委員会(准)発行

本日「全学スト実現・筑波移転阻止」 (2じ～本館先生前) 全学総決起集会に総結集せよ!!

△理ストを強化し、
全学ストを実現せよ!

二〇日理学生大会が行なわれストライキ方針が圧倒的な多數をもつて可決された。十六日以来教授からのさもざまな形での斗争に対する抑圧活動にもかかわらず、二〇日の理教授会との大衆田交によつて、その調査費計上の、またこれまでの移転審議の犯罪性をバクロし、ストに突入したのである。W館には、現在教官排除のバリケードが築かれているのである。我々は今や理ストから全学ストを勝ち取る段階に達している。二五日には文理教農で学生大会が持たれることになっている。こうした状況の中には明らかであろう。まず、集会の任務は明らかである。まず、オ一に、理スト実現のもつ意味をつきり確認し、よりその内実を強化することによつて文と共に長期ストの体制を確立すること。オ二に、二五日の四学部学生大会に向ひ、本館封鎖死守、筑波移転阻止の意志を全学的に確認し、全学ストへの圧倒的な力を結集していくことである。

△農、教育、学部、
ストへ向かつて前进す

理ストの方向性は、調査費計上への抗議、学長、四学部長辞任要求、五者協議会設置というように、我々の筑波移転阻止という要求を貫徹させる方向とは違つてゐる。しかしこのスト実現への主力部隊となつた全学斗に結集する理筑波斗争委の学友は、現在学友の間に広汎に存在してゐる、非民主的決定反対、学生を無視した移転反対という意識を明確にこれまで六年間にわたる教技局の移転審議を否定し、またその否定する内実として筑波移転への批判といふものを形成していく方向性において斗つてゐる。理学部の全学友諸君、二五日の学生大会において強固な長期ストライキを確立せよ! 内実を打

本日二じ本館先生前

全学総決起集会に総結集せよ!
(全学斗)

ち固めよ!

農学部においては、教授会による「説明会」「学科会議」というスト対策に対して執行部は、貢献追求と五者協議会という方向において基本的に教授会の路線にのつかかり、筑波移転との対決したのである。W館には、現在教官排除のバリケードが築かれているのである。我々は今や理ストから全学ストを勝ち取る段階に達している。二五日には文理教農で学生大会が持たれることになっている。こうした状況の中には明らかであろう。まず、オ一に、理スト実現のもつ意味をつきり確認し、よりその内実を強化することによつて文と共に長期ストの体制を確立すること。オ二に、二五日の四学部学生大会に向ひ、本館封鎖死守、筑波移転阻止の意志を全学的に確認し、全学ストへの圧倒的な力を結集していくことである。

△名渓会一大学当局一国家権力による争奪破壊策動を粉碎せよ!

二〇日の名渓会有志による父兄「説明会」にて、移転推進派は国家权力と結託し、我々の争争を弾圧し、一名の学友を不当逮捕するなど、殴打を出した。これは何よりも全学斗を中心に戸が戸を弾圧して、名渓会の一部を弾圧しているすでに九〇日に及ぼんとしている本館、鎌バリケードストライキに対して忍れを守した学当局=移転推進派が何とかしてストを破壊しようと父兄に手を伸ばしての窮屈に他ならない。我々はこの斗争に全く参加しなかつた他学部の一部諸君を弾劾すると共に、官憲=名渓会の一本化を断つた攻撃を断固として大衆的に粉碎しなければならない。

△二五日学生大会で全学ストを実現せよ!

勵強を続ける大学当局に更に鐵槌を下し勝利の展望を切り開いていくのは、二五日の学生で圧倒的に理スト続行、農教スト突入を勝ち抜く全学ストを実現していくことである。腐敗した教授会を中心とした既存の大学秩序を徹底的に打碎することにより、新たな秩序を創造し、筑波移転を新規として阻止していくがなければならぬ。全学友は全学斗に結集せよ! 全学総決起集会を圧倒的に成功させ、二五日全学ストを実現せよ!